

無料アーカイブ配信のご案内

本日のコンサートをご自宅でご覧いただけます。ご家族やご友人と共に、ぜひお楽しみください!

視聴サイト：札幌市民交流プラザ公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/@SapporoCommunityPlaza/videos>

期間：2024年12月1日(日)～12月31日(火)



※ご視聴にあたっての通信料は、お客様負担となります

大学連携コンサート

札幌市芸術文化財団が連携協定を結ぶ札幌大谷大学、北海道教育大学岩見沢校の学生や卒業生ら若手音楽家によるコンサート。出演者は演奏だけではなく公演制作過程にも参加し、SCARTS スタッフと本番に向けて準備を重ねます。ナビゲーターによる曲目紹介を交えながら、フレッシュな演奏を街中で気軽に楽しんでいただける音楽会を目指しています。

札幌文化芸術交流センター
SCARTS

大学連携コンサート

新大陸 と クラシック 音楽

New Continents
&
Classical Music

北海道教育大学岩見沢校



2024.
9.18 水 開演 19:00 9.19 木 開演 14:00

会場 SCARTS コート 札幌市民交流プラザ1階

Program セルゲイ・プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ第2番 Op.14

ジョン・ケージ：4分33秒

エイトル・ヴィラ＝ロボス：ソプラノサックスのためのファンタジア

※途中休憩はございません

主催：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

後援：札幌市、札幌市教育委員会

協力：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 (劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



◆ セルゲイ・プロコフィエフ
〈ピアノ・ソナタ第2番 Op.14〉

プロコフィエフは、1891年に当時のロシア帝国領であったドネツィク州で生まれました。第一次大戦末期の1917年、ロシア革命の発端となった、二月革命が起きます。その騒ぎと混乱を避けるため、プロコフィエフは、アメリカへの亡命を決意します。実は、その途中に3ヶ月ほど日本に滞在し、帝国劇場でピアノリサイタルをしたり、音楽評論家の大田黒元雄（おおたぐろ もとお）とも懇意にしていたようです。今日お聞きいただくピアノ・ソナタ第2番は、彼が1912年、サンクトペテルブルク音楽院の在学中に作曲されたものです。軽快なリズムやシンコペーション、和音には、プロコフィエフの個性が現れています。

◆ 宮崎夏帆／ピアノ



ピアノ
宮崎 夏帆 Kaho MIYAZAKI

北海道教育大学岩見沢校 音楽文化専攻 鍵盤楽器コース2年在学中。第32回毎日子どもピアノコンクール本選会銅賞。第21回北海道ショパン学生ピアノコンクール本選会入賞。これまでソルフェージュを佐藤香奈氏、ピアノを佐藤敬美氏、石田敏明氏を経て、現在野呂佳生氏に師事。

◆ ジョン・ケージ 〈4分33秒〉

1940年代後半、ハーヴァード大学の無響室での実験にケージが参加したことが大きなきっかけとなり作曲されました。彼はその実験で、沈黙というものに、サウンドの不在ではなく、自分の神経機能と血液循環の非意図的な運動を感じました。彼にとってそれは視野の変化であり、転回でした。彼は後年、「わたしはそこに自分の音楽を捧げたのです。わたしの仕事は非意図的なものの探求となりました。」と述べています。つまり、ケージにとって、一番好きな音楽とは、まだ聴いたことのない音楽であり、また新しい音楽を頭で理解しようとするのではなく、ただ音の活動に注意するだけの聴き方を理想としていたようです。この〈4分33秒〉は、まさしく、このケージの思想を形にしたものと言えましょう。

◆ 山口琴香／ピアノ



ピアノ
山口 琴香 Kotoka YAMAGUCHI

北海道教育大学岩見沢校 音楽文化専攻 鍵盤楽器コース4年在学中。令和6年度学内ソロ選抜演奏会に出演。SAPPORO CITY JAZZ 2023 PARK JAZZ LIVE、フェリー船内イベントのコンサートに出演するなど、音楽のジャンルを問わず学外での演奏活動に力を入れている。現在、ピアノを松永加也子氏に師事。

◆ エイトル・ヴィラ＝ロボス
〈ソプラノサックスのためのファンタジア〉

ヴィラ＝ロボスは、1887年生まれのブラジル出身の作曲家で、独学で作曲を勉強しました。20代のときにアマゾン奥地を含むブラジル全土を旅し、各地の伝承音楽に触れ、クラシックの技法にショーロという民族音楽など、ブラジル独自の音楽を取り込んだ作風として知られています。彼は、パリなどヨーロッパやアメリカ合衆国を訪れ、音楽家との交流などから、国際的に活動の幅を広げていきました。ヴィラ＝ロボスの印象を、ポーランド出身の世界的ピアニストのルーピンシュタインは、「浅黒い肌、きれいに剃った顔、黒いもじゅもじゅの髪、哀愁の漂う大きな眼をした小柄な男であった」と語っています。

◆ 橋本芽育／サクソフォン
山口琴香／ピアノ



サクソフォン
橋本 芽育 Mei HASHIMOTO

佐呂間町出身。13歳からサクソフォンを始める。北海道佐呂間高等学校を卒業。現在、北海道教育大学岩見沢校 音楽文化専攻 管弦打楽器コース4年在学。全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト 高校生の部北海道大会金賞受賞。第5回奏楽コンクール管楽器部門 大学の部 審査員特別賞受賞。令和5年度学内室内楽選抜演奏会に出演。サクソフォンを佐藤淳一氏に師事。室内楽を佐藤淳一氏に師事。

9/18 ナビゲーター 森唯菜 (HTB北海道テレビ放送アナウンサー)

9/19 ナビゲーター 段木涼太 (HTB北海道テレビ放送アナウンサー)